

荒川区

町会ってなんだろう?どんな活動しているの?あらぶんちよ地区の町会長にお聞きします

あらぶんちよ町会見聞録

第24回



町会に参加すると、地域に仲間ができたり、自分が住んでいるまちに対して愛着が生まれたり。まずはお祭りやイベントに参加してみよう!



約90名が参加している町会のLINE公式アカウント。スムーズな情報発信が可能になったそう。

充実したホームページや
公式LINEアカウントで
活動が活発&円滑に

ツールを駆使しながら、コミュニケーションの在り方を見直す

荒川一丁目西文化会 会長 伊藤 雅彦さん



●荒川一丁目西文化会

マンションや商店の数が少なく、個人住宅が過半数を占める約300世帯が属する町会。荒川東部町会連合会に連なり、町会には3つの区、区ごとに10程度の班が存在。伊藤さんは2023年度より会長職を務めている。

世代間ギャップがある中、現代に寄り添う町会を目指す
この辺りは古くから住まわれている方が多い一方、最近是新築戸建てに引越してこられる若いファミリーもいらっしやいます。私は23年から会長になりましたが、まずはその世代間ギャップを埋めるための対策を考えました。専門主婦がいる前提の従来の町会制度では、「コミュニケーションもとりづらく、訪問をしてもお会いできないことが多い。それだと町会が何をしているところなのかも説明しづらいですよ。なので、まずは町会のホームページを作ることから始めました。「新規加入の方へ」というコンテンツを用意し、どこに区長が住んでいるのか、町会費はいくらなのか、どう



餅をつきだけでなく、豚汁のふるまいや子ども用のくじ引きなどやっているもちつき大会は、毎年12月初旬に開催。

支払うのかや、ゴミ捨て場のルール、閲覧板の扱い方なども明記しています。お話する時間がなくても、このコンテンツのQRコードをお渡しすれば、町会の「いろは」がわかる仕組みになっています。
LINE公式アカウントを使い電子閲覧板も運用
ホームページだけでなく、最近ではLINE公式アカウントも作り、こちらには約300世帯のうち、現在93人が登録してくれています。電子閲覧板配信ができるので、紙での閲覧が不要になった班や家も増え、連絡事項の伝達が早くなっています。また、昨年のもちつき大会では当日の朝に「今日の11時からもちつきやります!」と配信したところ、前年の倍の人数が集まりました。効率化だけでなく、私と1対1のチャットも可能なので、町会への意見や質問を気軽に投げかけてもらえるというメリットもあり、町会員から好評をいただいています。



若睦という青年部グループを中心に大人神輿と共に子ども神輿、山車が町内をまわる素盞雄神社のお祭り。

もちろん「顔の見える」コミュニケーションも大切
効率化や電子化などを進めると同時に、もちろん従来の行事は開催し、そこでコミュニケーションをとることも大切になっています。例えば、もともと土曜にご年配の方が集まってお茶をしたりおしゃべりする「サロン西文化」という企画があるのですが、これを元に、町会メンバーの方のアイデアで「子供サロン」というイベントも始めました。こちらは親子を対象に、ゲームや簡単な工作ができる企画になっています。世代間ギャップを埋めるだけでなく、老若男女誰もが参加できる町会であるために、リアルな行事とIT化を組み合わせた工夫をしています。また今後は役員だけでなく、気軽に町会に関わってもらい無理なく役割を分担できる賛助役員制度の推進もしていければと思っています。



大人も子どもも参加して、盛り上がった餅つき大会

後継者を集うために 労を惜しまず、 行事や活動の見直しを

ここ数年でメンバー構成も変わり、女性役員が活躍中

西尾久一丁目南町会 会長 鈴木 文男さん



●西尾久一丁目南町会

尾久西部町会連合会に属す、約550世帯からなる町会。内、マンションの加入は100世帯ほど。お祖父さんも副町会会長を務められた鈴木さんは、この地域で生まれ育ち、現在町会長として6年目を迎えている。

昔も今も変わらない 町会の課題

祖父もここで副町会長を務めた時期があったので、私自身幼いころに町会の活動に参加していた記憶は多くあります。子どもの頃の大きなイベントといえば、潮干狩りや夏祭りでしょうか。特に小台橋からみんなまでるま船に乗り込み、東京湾の干潟で遊んだ潮干狩りのことは、幼かったながらも記憶に残っています。20代では町会の活動から離れていたのですが、30代になって自分に子どもができること、また行事に参加し始めて、そこから積極的に町会活動に関わり始めました。自分を振り返ってもそうですが、今も町会への若い人の関わり方は課題の一つだと感じています。

コロナ禍を経て 変化したメンバー構成

コロナ禍の影響もありほとんどの行事が中止となる中、高齢のために退任されたり、体調を崩されて町会の一線は退いた方も多く、主要なメンバー構成にも変化がありました。行事を行えば町会認知の機会になるので、そこに来る方に声をかけることもできますが、行事自体が止まってしまふとそれすらもままならないというのを感じました。それでも若いご夫婦が町会の役員に参加してくださるといいうれしい出来事もあり、その方がさらに友人を誘ってくれ女性の役員が増えたのは町会の明るい話題でした。昔からの恒例で、平日夜に役員が集まりがありますが、それだと会社勤めの働き盛りの男性はなかなか参加できないというデメリットもありますよね。若い人に参加してもらうには、町会としても活動の在り方や慣例を変えていく必要もあると思っています。



5町会連合でやっている盆踊り大会は、宮前小学校の校庭で開催。こちらでも焼きそばやフランクフルトの出店をし、まちの人に喜ばれる。

目指すは、コミュニケーション がとれるまちづくり

2023年の後半からは少しずつ行事も復活させていて、新しい方が顔を見せてくれる機会も増えていきます。年末の餅つき大会では昔から餅つきだけでなく、豚汁や焼きそばを売るので、昨年末はその企画を数年ぶりに復活させました。40年くらい続いている伝統の行事の再開とあって、懐かしんで集まってくれる人や初めて参加する人からさまざまな感想も聞けて、やはりこういう機会が多いと活気付くなと感じました。昨年度の防災訓練は役員だけで行いましたが、今年はまた大勢で行いたらいいなと思っています。コロナ禍で失ったものも大きかったですが、今一度町会の活動を考えるきっかけにもなりました。今後は新しい役員の見解なども取り入れながら、コミュニケーションがとりやすいまちづくりを目指していきたいですね。



町会会館のプロジェクターを使いながら実施したスマホ教室。20名弱の参加者が集まった。

“スマホ入門講座”を定期的で開催しております

現在弊社ではご加入者様限定の「初心者のためのスマホ入門講座」を開催しております。2014年9月の初回からこれまで111回の講座を開催し、約1,500名のお客様にご参加いただきました。当講座では、スマートフォンを全くさわったことがない方向けに電源の入力方・タッチ操作などの基礎から始め、講座の後半ではラインアプリの使い方なども体験して学んでいただけます。また、講座の最後にはお楽しみ抽選会や相談会も実施しております。

スマートフォンに買い替えをお考えの方、使い方がよくわからなくて困っている方、もっと使いこなしたい方など、ご家族やご友人をお誘い合わせの上、お気軽にお申込みください。



※開催情報は、TCN ホームページにてご案内しております。



過去の行事の写真集や行事のお知らせのほか、町会の成り立ちなど、コンテンツが充実しているホームページ。

ホームページや オープンチャットを活用し、 開かれた町会活動を

今年は町会会館の建て替えなど、新たな試みにも取り組む

東日暮里六丁目日本町会 会長 三井 修さん

約半数がマンション住民 加入世帯の

昨今はこの地域にもマンションが多く建ち、現在は全世帯数のうち約650世帯がマンション住民です。管理組合の方に町会に入っていたり、相談や調整はしていますが、残念ながら町会を抜けてしまったマンションもあります。マンションとしては抜けても個人的に町会に残ってくださっている世帯もあります。下町で育った人もほとんど入っていただき、という思いはあり、「町会に入るメリットがわからない」という意見の方もいらっしゃるのですが、まずは町会の活動や取り組みを知ってもらうきっかけになるイベントや会合を積極的に企画しています。



●東日暮里六丁目日本町会

北は三河島駅に接し、東は尾竹橋通り、南は日暮里中央通りに面している、約1,200世帯から成る町会。前身である「日暮里三丁目日本町会」が誕生してからは約70年が経っており、三井会長は15代目会長を務めている。



毎年、ラジオ体操開催期間の最終日に行われるドジョウつかみイベント。町会外からの参加も多い。

ファミリーで参加できるイベントを町会認知の機会としてとらえる

年間を通しての行事は、新年会・鏡開き1月、元三島神社例大祭5月、ラジオ体操・スイカ割り・ドジョウつかみ7月、納涼会8月、防災訓練11月など多岐に渡ります。中でもファミリー層に人気なのはドジョウつかみイベントでしょうか。この町会の伝統的なイベントで、今は諏訪中第二グラウンドを借りて、太いホースで囲んだ放流場所を作り、大人も子どもも一緒に楽しむことができます。昨年は約300人の参加があり、中には会員でない方もいらっしゃるのですが、町会のWEBサイト用QRコードを印字したチラシを配布して、認知活動につながりました。また、防災訓練も、一昨年から「楽しい防災訓練」と称して、バケツリレーをリレー形式にしてみました。消防署の方に協力いただき実際に子どもたちと消火



現在検討中の会員証。町会員であるメリットを感じられる施策を考えていきたいとのこと。

器を使ってみたいりと、みんなが興味を持ちやすい企画にしたところ、100名ほどが集まってくれました。

「遠くの親戚より、近くの町会」をモットーに、活動拡大へ

2022年からはWEBサイトで活動予告や活動報告を頻繁に更新するようになりましたが、最近ではオープンチャットも活用しています。現に、そこで青少年部の会員募集をしたところ100名弱の方が登録してくれました。今後は近所の人を誘いたくなるようなイベントを行うとともに、会費を払っている会員がプラスαのメリットを受けられるように「会員証」を発行することも検討中です。また、今年の6月からは町会事務所の建て替えもあり念願だったバリアフリーの事務所へ生まれ変わる予定ですので、町会をより身近に感じてもらえるような活動をしていきたいと思っています。

日本全国の地域情報が楽しめるアプリ「ロコテレ」

日本全国のケーブルテレビ局が制作した地域情報番組がテレビ・スマホでいつでも視聴できるアプリです。全国のお祭りやイベントの生配信もご覧いただけます！

※一部視聴できないコンテンツがあります。



ご利用方法（無料）
Android TVやFire TV Stick、iPhoneなどでアプリをダウンロードしてお使いいただけます。

■iPhoneでご利用の場合
App Storeで「ロコテレ」と検索、もしくはQRコードを読み取ってアプリをインストールしてください。



■Androidでご利用の場合
Google Playストアで「ロコテレ」と検索、もしくはQRコードを読み取ってアプリをインストールしてください。



■テレビでご利用の場合：Google Playストアで「ロコテレ」と検索しアプリをインストールしてください。

TCNからのお知らせ②